

## 受賞者のご挨拶

株式会社 ダイヤ

会長 田口 尚二様



ただいまご紹介に与りました、株式会社ダイヤの田口でございます。本来であれば、社長である高橋がこの場にてご挨拶すべきところですが、高橋から設立から今日までのこととお話するには創業者である私が相応しいと進言があり、この場に立たせていただいております。まずもって、この度の中小企業振興表彰を賜り、誠にありがとうございました。社員を代表しまして心底より感謝申し上げます。

私は3年ほど前に社長職を譲り、現在は代表権のない会長でございます。掻い摘んで設立から今日までのこととお話しさせていただきますと、昭和47年に主に養豚器具の販売を目的とした合資会社ダイヤ商事を設立しました。当時、株式会社というのは大変敷居が高く、周りには合資、合名の会社が多々あり、何の違和感もなく合資会社を設立しました。販売を主目的としましたので、商事会社の商事をとって合資会社ダイヤ商事としてスタートしました。はじめは県南地域を主な営業エリアとし、それから2～3年後に秋田県全域に販路を広げていきました。暫くすると、生産者の方々から「器具の販売だけでなく、一括して畜舎の建築もしてほしい」という要望をたくさんいただき、それから建築も手掛けるようになり、東北一円に販路を広げていきました。

ターニングポイントの一つ目として、昭和57年に青森市に株式会社ダイヤ商事を設立しまし

た。当時、八戸市に日本最大の飼料コンビナートが建設されることになり、大手商社や全農などが地域に大きな飼料工場を建設し、それ以降畜産の規模拡大が始まりました。昭和47年に会社を設立した当初の売上は、秋田県が100%でした。その後、営業エリアを東北一円に広げた時に県内の売上が50%になりました。その頃から徐々に、日本農政の仕組みだったと思いますが、日本海側は水田、太平洋側は畑作が中心となっていきました。畑作は大量の堆肥を使うため、畜産は青森県の津軽地方から秋田はもとより、北陸、山陰、福岡まで日本海側は衰退していきました。逆に八戸から茨城、千葉、愛知、宮崎、鹿児島のパシフィック側は畜産が大規模化していきました。そうした流れの中で、東北から北海道、関東、甲信越と販路を広げていきました。

その頃、例えば愛媛県や長野県などの県外で5～6億円の大型物件を受注した時、地元の役所の方や地域の人たちから「なんで地元のA級業者じゃなく、他県のしかも合資会社で商事会社が元請なんだ」という声が聞こえてきました。このため、平成13年に子会社の株式会社ダイヤ商事に親会社の合資会社ダイヤ商事を吸収合併させ、同時に本店を今の大仙市大曲に移転し、社名から商事を外し、今日の株式会社ダイヤに社名を変更しました。これがターニングポイントの二つ目となります。

その後、業績は順調に伸びていきましたが、

その要因の一番はやはり、今から20数年前に畜産の先進地であるヨーロッパに行き、主な機械器具等の勉強をして、仕入をしながら日本の畜産にマッチングさせていったことです。その当時の同業者がまったくやっていなかったことをやり始めたことが、業績向上につながり、今日があるのだと思います。

ターニングポイントの三つ目として、先ほど申しましたように、なるべく早く社長職を譲り、そして若い社員を伸ばしていくことを10年ほど前から考えはじめ、ようやく3年前に実現できました。

本日お集まりの皆様は、恐らく養豚の機械器具についてご存知ないと思いますので、簡単に説明させていただきますと、お配りしたカタログの写真是、弊社の八戸市のお客様の農場です。ここだけで豚が約3万頭います。豚は皮膚が薄いため、温度に非常に敏感です。そのため、舎内の空調は、温度センサー、湿度センサーはもとより、炭酸ガス濃度センサーなど様々なセンサーを駆使し、コンピューターが制御しながら自動で感知します。このシステムは今いるこの会場よりも快適な状態をつくれます。そして夏に暑くなれば自動で冷房が入り、冬に寒くなれば暖房が入ります。また、生まれてくる子豚は寒さに弱いことから、人間の住宅とほぼ同じような床暖房システムがあります。餌に関しても、飼料タンクから自動で供給されて豚の口元まで届きます。そして、排出される豚の糞尿は地下ピットを通過して、糞は堆肥コンポストへ、尿は浄化槽に入ります。このように養豚は物凄く進んできている設備産業です。養豚というより工場以上にシステム化されている装置産業です。こうした装置産業を手掛けられるようになった

のも、私を含め社員が海外に出て勉強してきた成果だと思っています。秋田県内の養豚家にも少しずつですが後継者が育ってきています。県内の売上もようやく4%まで回復してきました。最も低いときは2%くらいでした。売上の98%は出稼ぎみたいに他県から稼いできました。地元秋田では本当に知名度の低い会社ですが、この度の中小企業振興表彰を賜りましたことは、私ども社員全員のステータスが上がり、さらには産業の発展、地域に大きな貢献ができるものと確信いたしました。この度の表彰に深く感謝し、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

### (会社概要)

事業内容	畜舎建築工事、畜舎機械器具設置工事、畜舎機械器具販売、糞尿処理施設工事、一級建築事務所
設立	昭和47年5月
資本金	3,400万円
従業員数	52名
売上高	77億5,300万円(平成29年4月期)